

地域未来交付金の活用実績について①

資料 2

地域未来交付金（地域未来推進型）について

地方の大きな伸び代と地域特性を最大限に活かし、地方の暮らしの安定を実現するとともに「強い経済」を構築するため、地場産業の付加価値向上など、地方公共団体の地域独自の取組を支援する交付金。

※令和6年度までは「デジタル田園都市国家構想交付金」、令和7年度は「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」、令和8年度は「地域未来交付金」に名称変更。

交付金事業名	転職なきふくしまぐらし。推進プロジェクト	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	広域・単独	福島県、須賀川市、伊達市、天栄村の広域連携事業
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		
目的（効果） ※県との連携事業としての目的（効果）	テレワーク等をはじめとした多様な働き方や暮らし方が可能な環境を整備するとともに、県内における理想の働き方や暮らし方の実践事例をPRし、移住を促進する。さらに、移住してきた新たな人材が地域課題のビジネス化を通して地域との関わりを深めていくことを促し、地域活力の向上を図る。		
活用事業名 （担当課）	シティプロモーション推進事業(秘書広報課)	プロジェクト名	1-3 様々な交流による移住定住推進プロジェクト
事業費（実績）	3,388,000円	交付額（実績）	1,694,000円
事業実績・ 主な経費	○転職を伴わない移住者等の取込 ・シティプロモーション推進事業（委託費）3,388千円 ・3年目は、CCAC交流施設（U-プレイス伊達）等を活用して、移住者が伊達市の魅力を発信する担い手となる事業を実施。（移住者から見た伊達市を広める事業の実施） ・CCACを拠点とした伊達市の魅力を発信する事業を実施。（魅力発信者の育成、伊達な宣伝部長・だてフォト部の運営） ・移住世帯数は、令和6年度は68世帯、令和7年度は76世帯。 		



地域未来交付金の活用実績について②

交付金事業名	福島県観光誘客促進プロジェクト						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						広域・単独	福島県、福島市、郡山市、喜多方市、伊達市、檜枝岐村、玉川村の広域連携事業
事業の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果 ※県との連携事業としての目的・効果	観光周遊施策の強化・充実を図ることによって、県内の観光客入込数だけではなく、観光宿泊者数の増加を図る。加えて、観光交流人口に留まらず、その先の移住・定住人口の増も見据え、まずは新型コロナや人口減少により低下するおもてなし力(観光受入体制)の強化を図り、「再び訪れたい福島」を創り、旅行者満足度の向上やリピーター増加に繋げる。							
活用事業名 (担当課)	観光でにぎわう魅力づくり事業(商工観光課)						プロジェクト名	1-3 様々な交流による移住定住推進プロジェクト
事業費(実績)	7,441,633円						交付額(実績)	3,720,816円
事業実績・主な経費	○観光客受入態勢強化のため、伊達市の「食」の魅力を発信するグルメマップを作成。 (印刷製本費) 495千円 ○観光コンテンツの造成・強化のため、ふくしまDC誘客促進事業として、観光コンテンツの磨き上げを実施。 (委託料) 1,236千円 ○魅力の発信のため、ふくしまDCプロモーション事業として、ポスター制作やイベント出展を実施。 (役務費・委託費) 2,655千円 ○観光客獲得、周遊促進のため、伊達市ファンアプリの構築を実施。 (委託料) 3,054千円 ○令和7年度の観光入込客数は2,097,844人。						 【QRコードはこちら】 	